町田市バイオエネルギーセンターで火災！正しいゴミの分別の、ご協力を！

火災の経過➡2 月 21 日に、バイオエネルギーセンター不燃ごみピットで火災が発生しました。原因は「スプレー缶」「カセットガスボンベ」「ライター」「小型充電式（リチウムイオン）電池」等が考えられるそうです。「燃やせないごみ」に分別されずに間違って入れると、今回のような火事に繋がり危険です。当面は燃やせないごみの処理を近隣の清掃工場に応援依頼をしています。これは市民サービスにとって、大きな影響を及ぼしかねません。今後の対策は、ごみを正しく分別し、適切な処理をする事が最も効果的です。

写真は町田市 HP より出典

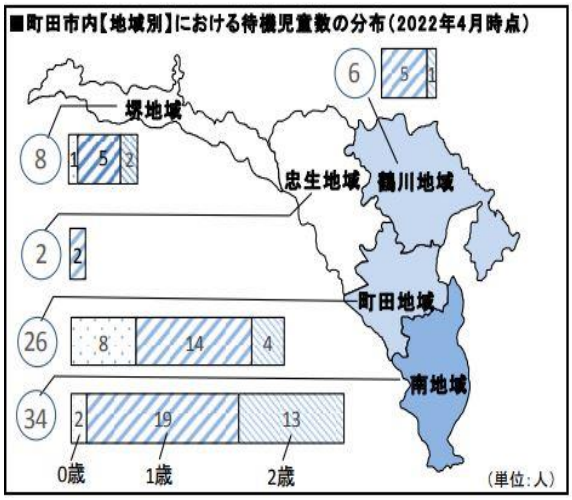
←左の写真の、「スプレー缶」「ライター」などは、燃やせないごみの収集車の中から出てきた物です。↓下の写真は不燃ごみピットからの白煙で消防車が到着し消火活動の様子です。市民の皆さんが安心安全な生活を送るためには、今後、火災を出さないように皆さんで、ごみの正しい分別をお願いします。

ごみの排出方法は以下です。ご協力をお願いします。

・スプレー缶・カセットガスボンベ
　ビン・カンの収集に中身を使い切って、出して下さい。
・ライター
　有害ごみとして中身を使い切って、出して下さい
・小型充電式電池（リチウムイオン電池等）
　市では収集できません。販売店のリサイクルボックスに・又は、販売店等にご相談下さい。
・小型家電
　電池、取り外しが、可能な小型充電式電池は外して、小型家電回収ボックスや、リサイクル広場へ、お願いします。

本会議質疑は待機児童解消対策事業について！今年も去年同様、待機児童数は 76 人 4/1現在

私は、定例会の本会議質疑で待機児童が多い南地域のみ計画見直しをした理由と内容を尋ねた。去年の南の待機児童は 36 人、今年も 34 人と多い。見直しでは、今年 4 月開設の小規模保育所1園で定員は 19 人。来年 4 月開設の認可保育所1園を定員 80 人で整備するそうです。さらに、認可保育所の空き定員や余裕スペースを活用し、待機児童が多い 1 歳児の受入を（3 人）する事業を実施するそうです。又、送迎保育ステーション事業を引き続き実施し子育て世帯の支援促進に力を入れるとの事でした。（質疑ここ迄）今年の待機児童数は昨年同数の 76 人です。新規の入所申込者数は、2,377 人で、入所児童数は、8,275 人です。



待機児童数は、1 歳児が最も多く 45 人、2 歳児の 20 人、0 歳児の 11 人です。新規申込の保護者で、保育必要性の事由は、一定基準以上勤務の保護者が最も多く、1,928 人です。以前の大家族の時には祖父母等が孫を見守っていたりしましたが近年、核家族化で共働き世帯が増え、周りに子供を見る人や、子育てを助ける人がいません。年々、就学前児童の保育所の利用が増え、必要とされています。

出典：図は町田市 HP